



とびっくす

No.129

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

謎多き漂流者・浜田の海にカメガイ大量出現！

皆さんは「カメガイ」という生き物をご存知でしょうか。水中をパタパタと羽ばたくように泳ぐ不思議な生き物です。この度、カメガイの一種が浜田の海で大量に確認されました。今回はそんなカメガイについてご紹介します。

浜田の海にカメガイ現る！

令和8年5月13日午後3時ごろ、浜田市にある当センター横の海面に、黒く粒状の生き物が大量に漂っているのが確認されました(図1)。写真では十分にお伝えできないことが残念ですが、水中をパタパタと羽ばたくように泳ぐ姿はとても神秘的です。海水ごとカップですくって観察してみると、その正体は殻の丸み特徴的な「クリイロカメガイ」という生き物でした



図1. 浜田の海を漂うクリイロカメガイ
(令和8年5月13日撮影)

(図2①)。クリイロカメガイはしばしば沿岸に大量漂着することが知られており、主に九州や山口県沿岸で大量漂着の事例が報告されています。しかし、島根県沿岸で大量に漂着した記録は残っていません。

クリイロカメガイについて

クリイロカメガイは大きく分けると巻貝の仲間で、主に温・熱帯の海域に生息しています。大きな特徴として、多くの巻貝類(例えば、サザエやアワビ)は生涯のほとんどを海底や岩礁で生活するのに対し、本種を含むカメガイ類は成体になっても海中を漂って生活します。泳ぐ力は弱く、海流に流されながら移動しており、殻は浮きやすいよう非常に軽量で、指で簡単につぶせるほど薄い構造をしています。

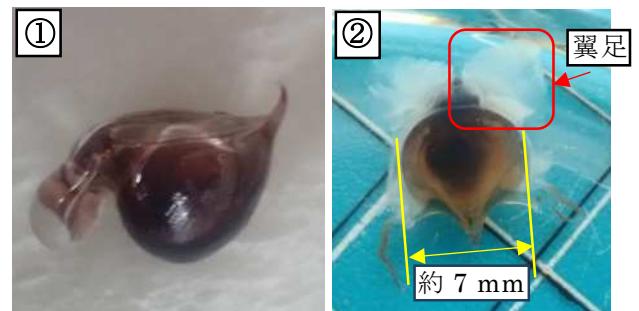


図2. クリイロカメガイ
① 殻(側面)
② 軟体部を出しているところ

ところで、カメガイは知らなくてもクリオネという生き物をご存じの方も多いのではないのでしょうか。実はクリオネという名前は通称で、正式な名前は「ハダカカメガイ」といいます。名前の「ハダカ」とは殻を持たないという意味です。クリイロカメガイのように殻を持つ仲間を「有殻翼足類」と呼びますが、クリオネのように殻を持たない仲間は「裸殻翼足類」と呼びます。両者は翼のような足(翼足、図2②)で泳ぐ特徴が似ているため、かつては同じグループ(翼足目)として扱われていました。しかし、後に両者はかなり離れたグループであることが分かったため、現在では翼足目というグループは使われていません。

両者は生態もかなり異なっており、例えばクリイロカメガイは海中に漂う懸濁物やプランクトンを粘液で作ったトラップで集めて食べるのに対し、クリオネは肉食性で、有殻翼足類の一種をバツカルコーン（口円錐）という器官で捕らえて食べます。ちなみに、有殻翼足類は英語で「Sea butterfly（海の蝶）」、裸殻翼足類は「Sea angel（海の天使）」といい、どちらも海中を羽ばたくその優美な姿を表す名前がついています。

黄色い粒の正体は？

捕まえたクリイロカメガイの中には、黄色い粒が連なったものをぶら下げている個体が確認されました（図3左）。顕微鏡で確認してみると、粒の正体は卵と考えられたので、水槽で簡易的なふ化実験を行いました（図3右）。結果、飼育2日目には卵の中で動く姿が確認され、3日目にはふ化した幼生が水中を泳ぎ回っている姿が確認されました。この幼生は、繊毛を活発に動かしてクルクルと泳ぎ回っていることから、貝類の発生段階のひとつであるベリジャー幼生と考えられました（図4）。

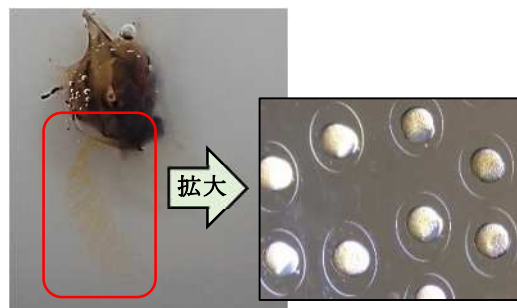


図3. クリイロカメガイの卵
（卵の長径：約0.2 mm）



図4. クリイロカメガイのベリジャー幼生
（長径：約0.2 mm、ふ化直後）

謎多き漂流者 クリイロカメガイ

確認翌日（5月14日）の早朝6時頃、再びセンター横の海面を覗いたところ、前日まで海面いっぱいには漂っていたクリイロカメガイの姿は全く見当たりませんでした。クリイロカメガイは、黒潮や対馬暖流などの海流に乗って運ばれます。実際、島根県沖合では、5月中旬（5月11日～14日）に実施した当センターの試験船「島根丸」によるマアジの新規加入量調査においてクリイロカメガイが大量に採集されています。今回確認された集団は、当県沖合を運ばれていたクリイロカメガイの群れの一部が、風や潮流によって沿岸に吹き寄せられ、翌朝には再び別の場所に運ばれたと考えられます。その後、5月29日には浜田市から益田市の海岸に漂着した大量のクリイロカメガイの殻が確認されました（図5）。日本海において、過去には今回と同様に沿岸で卵を持った個体を含むクリイロカメガイの集団が確認された後に、殻が大量漂着する事例が報告されています。その報告では、産卵行動と大量漂着が関連している可能性が指摘されていますが、その真相は分かっていません。彼らがどこから来て、どこへ向かうのか、その旅路にはまだ多くの謎が残されています。

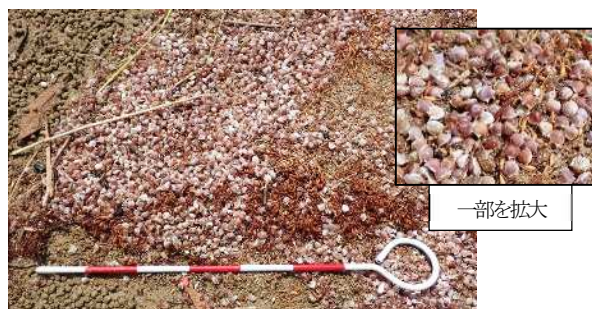


図5.大量に打ち上げられたクリイロカメガイの殻
（令和8年5月29日、益田市津田海岸で撮影）

おわりに

今回、当センター横の海で大量出現したカメガイがたった一日で姿を消したように、自然は刻一刻とその姿を変えていきます。当センターではできるだけリアルタイムな情報を皆様にお知らせするべく、島根の水面に目をこらしながら日々向き合っています。

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

